

任代々御寄進之旨、滿福寺號根本管領永代不可有相違者也。殊可奉祈現當二世御願成就之由、可下知給之旨被仰下候也。仍執達如件。

永和元年乙卯十二月二日 越前守光盛 奉

字キレ

孫次郎左衛門尉殿

(寺傳にこの状を日野殿のものなりとせり。日野氏は當時資數なり。)

十二月五日。預所越前守光盛、領家日野資數の命に依り、珠洲郡法住寺に祈禱の精誠を致さしむ。

【法住寺文書】 珠洲郡

五八七

袖判

直之郷内法住寺僧衆等御祈禱之事。令致忠節之由被聞召畢。殊日出度被思召候。長日勤行彌抽精誠、可奉祈御家門長久庄家安全之旨、可令下知給之由、依仰執達如件。

永和元年十二月五日 越前守光盛 在判  
謹上 孫次郎左衛門尉殿

十二月七日。預所越前守光盛、領家日野資數の命により、珠洲郡滿福寺に木郎郷の内を寄進す。

【滿福寺文書】 珠洲郡

五八八

袖判

木郎郷足羽名貳段陸内、足羽社神田伍所、殘貳段壹恒益爲祖父理寂五月二日、先考英光九月廿九日、先妣清光二月六日御忌日、爲奉訪彼御菩提、永代所有御寄附滿福寺也。殊無懈怠、可被修長日御追善之旨、被仰下候也。仍執達如件。

永和元年十二月七日

越前守光盛

滿福寺方丈

是歲。武藏金澤稱名寺領能美郡輕海郷、その年貢濟物を注進す。

【稱名寺文書】 武藏

五八九

輕海郷結解帳 永和元年十二月廿一日

在判

註進輕海郷永和元年貢濟物事

合

見錢

佰玖拾壹貫肆佰陸文

名々色々

拾貫文

山口錢

參貫伍拾文

綿代

貳拾貳貫柒佰拾文

散田日負錢

漆 直納 垂一

以上錢

天授二年 丙辰

永和二年 京都

紀元二〇三六

四月十九日。沙彌某、僧賢海に、鳳至郡寶泉寺護摩堂田を管領せしむ。

【寶泉寺文書】 鳳至郡

五九〇

宛行護摩堂田事

在內保村内岡上六十町也

郷阿闍梨賢海所

右以人所令補任也。任先例可致御祈禱精誠之狀如件。

永和二年四月十九日

沙彌 在判

九月四日。長谷部玄幸、鳳至郡總持寺に、定賢の寄進せる田畠敷地を安堵せしむ。

【總持寺文書】 鳳至郡

五九一

能登國鳳至郡楠比庄諸嶽山惣持寺田畠敷地等事四至界有本寄進狀右寺領田地者、任定賢律師之寄進狀之旨、亡父玄昭禪門之制札無相違上者、於向後玄幸子孫等守此旨、勿令違失。仍爲後證狀如件。

永和貳年 丙辰 九月四日

沙彌 在判

(定賢の寄進狀とるは、貞治五年十二月十五日惣持寺常住文書目錄中の定賢律師當寺開山和尚請狀を指すものゝ如し。今存せず。)

九月廿九日。鹿島郡永光寺布薩廻向人數の注文を傳寫す。